

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東洋精機株式会社 工場建替工事 の内新加工工場第2期新築工事	階数	地上1F
建設地	兵庫県尼崎市長洲本通1丁目51-1	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条指定区域	平均居住人員	17人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,160時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年7月30日
敷地面積	18,436 m ²	作成者	鴻池組 日高雅史
建築面積	3,109 m ²	確認日	2021年7月30日
延床面積	3,196 m ²	確認者	鴻池組 臼井明夫



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (レーダーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.9</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 更新間隔の長い仕上げ材の仕様や、リサイクル材の使用、LED照明器具の採用、節水型便器の採用など、環境資源に十分配慮された計画を行っている。</p>		<p>その他 特になし</p>
<p>Q1 室内環境 光視環境において室内照度を500 lx以上の計画としている。</p>	<p>Q2 サービス性能 外壁、内装仕上げともに補修必要間隔の長い建材を使用しており、ゆとりのある階高の設計である。 また、執務スペース(作業スペース)について、作業の安全確保や工作機械の運転、資材の搬出入のスペースを広くとっている。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内にできる限りの緑地を計画している。</p>
<p>LR1 エネルギー 特になし</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用やリサイクル材の使用、再生可能な部材の使用など、環境資源を配慮したものである。</p>	<p>LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」の一部を満たし、広告物照明はない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される